



夏号

つばめぐみだより

認定こども園 津田このみ学園

令和5年7月31日(月)

気持ちよく晴れ渡った青空に、照り付けるような陽射し。いよいよ夏がやってきました。子ども達はどこからかセミの鳴き声が聞こえてくると、「よっしゃー捕まえるぞ!」と張り切って虫取り網を持ち、木のそばに駆け寄り夢中になってセミ捕りをしています。セミやセミの抜け殻を嬉しそうに持ち帰っては、図鑑とにらめっこ!セミの種類を調べて、友達同士で目を輝かせて分かったことを伝え合っています。



夏だよ、プールだよ♪

戸外遊びをして汗をかいた後は、プール遊びを楽しんでいます。水の掛け合いやワニさん歩き、フープくぐりなど色々な遊びをしています。なかでも人気なのはみんなで作る大きな渦作りです。「いまだ!」の合図でしゃがんで体の力を抜くと「浮いた」「流れる～」と水に浮く気持ち良さや流れを感じています。「水やのになんか重たいな」と、水圧を感じながらも大きな渦作りを楽しんでいます。



プールに入るための準備から後始末まで自分でしています。あかぐみさんが準備中に困った顔をしていると、すかさず年長さん、あおぐみさんが「どうしたん?」「次は〇〇するんやで」と優しく教えてあげる姿が見られました。少しずつ準備の流れを覚え、一週間もすると「自分でできるからみといて!」と言い、着替えを一人ですることができました。「できた、できた」と友達に伝える姿が自信に溢れていました。この自分でできたという自信を大切に、次への意欲、自信に繋がるように見守っていきたいと思います。お家でも、お子さんと一緒に身の回りの始末をしてみてくださいね。



生き物だいすき!

絵本「ぞうきばやしのスもうたいかい」を読むと、色々な生き物が出てきます。生き物が大好きなつばめぐみさんは、繰り返し何度も自分たちで絵本を読んでいる姿が見られました。そこで、絵本に出てくる虫を製作し、ペープサートで演じてみることに!「みあって みあって～」 「のこった のこった!」のセリフはみんなで声を合わせて言います。そんなある日、園庭で遊んでいると「先生!すもうたいかいが始まる」と慌てた様子のAさん。そこには、カマキリとカナブンが向かい合っていました。絵本のセリフを言いながら「頑張れ!」と応援し、虫の動きに興味が高まっていました。



カイコが大変身!

5月下旬につばめぐみにやってきたカイコが、とうとう成虫のカイコガになりました。繭にぼっかり開いた穴を覗き込み、「中はどうなっとんかな?」「羽がバタバタしてる」「飛ばへんのかな?」「羽あるのになんで?」と不思議なことがいっぱい。小さすぎて見えないほどのサイズから約2か月、すっかり成虫になり嬉しい反面、みんなでお世話した日々が終わりに近づき、寂しくも感じます。成虫になったカイコガの動きを見たり、卵の観察をしたりして、命の継承を感じていました。

●感染症や熱中症などの予防のために、引き続き子ども達の健康管理に気を付けていただきながら、楽しい夏をお過ごしください。

●担任の中村志保が、一身上の都合により退職しました。担任は、津下舞花、磯田愛、桔梗順子が配属になります。

